

明峰中学校と小瀬高校は、連携型中高一貫校として今年度も様々な中高一貫に係る取組を通して、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」の育成に励んでいます。

福祉体験【福祉コース】「寄り添う心」を学ぶ ～福祉体験で得た、新たな視点～

6月24日（水）、「福祉体験授業」を連携型中高一貫教育の一環として実施しました。明峰中学校の3年生の皆さんが小瀬高校へ来てくださり、本校の福祉コースの生徒たちが講師役となって体験授業を行いました。

中学生の皆さんに福祉について楽しく、そして分かりやすく知ってもらえるよう、生徒たちは今日のために心を込めて準備を重ねてきました。授業では、「認知症を学ぼう」という学習から始まり、「シルバーリハビリ体操」、そして2人一組で取り組む「高齢者疑似体験」や「車椅子体験」といった実践的なプログラムを実施しました。相手の立場に立って支え合う体験を通して、お互いに「助け合いの大切さ」を肌で実感してもらえたらうれしいです。また、今回は茨城県介護福祉士の理事の方にもお越しいただき、介護職の仕事のやりがいや働きやすい職場環境などについて貴重なお話を伺うこともできました。

今回の福祉体験授業を通して、福祉の仕事の魅力はもちろん、人と人とのつながりの大切さを少しでも感じていただけたら幸いです。明峰中学校の皆さん、今日は小瀬高校に足を運んでいただき本当にありがとうございました。



ふれあい花壇

夏に向けて咲き誇れ！真っ赤なサルビア！

6月23日（火）、本校の中高一貫連携行事として、明峰中学校の生徒さんたちと「ふれあい花壇」にサルビアの苗植えを行いました。真っ赤なサルビアが美しく地域を彩り、登下校する生徒の皆さんや地域の方々の目を引く存在になってくれることを今から楽しみにしています。ふれあい花壇のサルビアが見事な満開を迎える頃に、成長した姿をホームページでご報告させていただきますので、どうぞお楽しみに！



“OSE Challenge + Plus Catch your dreams”